

2024年全日本小中学生大会 開催要項

1. 主催 公益社団法人 全日本アーチェリー連盟
2. 主管 公益社団法人 全日本アーチェリー連盟 強化部
3. 日程 2024年9月14日(土)～15日(日)

日程	時間	スケジュール
9月14日(土)	08:30～	受付 (RC30m・CP30m・BB18m)
	09:40～09:50	監督会議
	09:50～10:20	開始式・用具検査
	10:20～12:50	練習 (3エンド) 予戦ラウンド①72射1立 (RC30m・CP30m・BB18m)
	14:30～15:20	【ハイパフォーマンスクリニック①(希望者)】
	15:30～16:20	【ハイパフォーマンスクリニック②(希望者)】
	16:40～	受付 (RC60m・RC18m)
	17:50～18:00	監督会議
	18:00～18:30	開始式・用具検査
	18:30～20:00	練習 (3エンド) 予戦ラウンド②72射1立 (RC60m・RC18m)
9月15日(日)	08:30～08:45	練習 (RC60m・RC30m)
	08:45～09:15	1/16 RC60m・RC30m
	09:15～09:30	練習 (RC60m・RC30m)
	09:30～10:00	1/8 RC60m・RC30m
	10:00～10:30	1/4 RC60m・RC30m
	10:30～10:45	レイアウト変更
	10:45～11:00	練習 (RC18m) RC60m・RC30m
	11:00～11:30	1/2 RC60m・RC30m ・ 1/4 RC18m
	11:30～11:45	練習 (RC18m・CP30m)
	11:45～12:15	1/8 RC18 ・ 1/4 CP30m
	12:15～12:45	1/4 RC18 ・ 1/2 CP30m
	12:45～13:00	練習 (RC18m・BB18m)
	13:00～13:30	1/2 RC18m・BB18m
	13:30～14:30	レイアウト変更 (昼食)
	14:30～15:00	Bronze RC60m・RC30m・RC18m・CP30m・BB18m
	15:00～15:30	Gold RC60m・RC30m・RC18m・CP30m・BB18m
16:00～	成績発表・表彰	

※ 競技の進行状況により時間は変更になる場合がある。

※ 用具検査は、SL上で実施する。(CPについては、会場にて指示をする)

※ 予選ラウンドにおいては、行射中に音楽を流すことがある。

4. 会場 つま恋リゾート彩の郷 第1スポーツ広場

〒436-0011 静岡県掛川市満水 2000 TEL 0537-24-1111(代)

5. 競技種目

部門	種別	距離	イミネーション～ファイナルラウンド*	備考
リカーブ部門	中学生	60m (36射×2回)	(60m) セットシステム	122cm 標的面使用
	中学生	30m (36射×2回)	(30m) セットシステム	80cm-6リング 標的面使用
	小学生	18m (36射×2回)	(18m) セットシステム	80cm-6リング 標的面使用
コンパウンド部門	小中学生	30m (36射×2回)	合計得点制	80cm-6リング 標的面使用
ベアボウ部門	小中学生	18m (36射×2回)	セットシステム	80cm 標的面使用

6. 競技規則 全日本アーチェリー連盟競技規則 2024～2025年 (ターゲットアーチェリー)による。

7. 参加定員

部 門	種 別	選考対象	定員	備考	
リカーブ部門	中学生	男子	60mラウンド	24名	中学2・3年生 小学生および 中学1年生の参加申込可
		女子	60mラウンド	24名	
	中学生	男子	30mの部	24名	中学1・2年生 小学生の参加申込可
		女子	30mの部	24名	
	小学生	男子	18mの部	24名	小学生
		女子	18mの部	24名	
コンパウンド部門	小中学生	男子	30mの部	8名	
		女子	30mの部	8名	
ベアボウ部門	小中学生	男子	18mの部	4名	
		女子	18mの部	4名	
合 計			168名		

8. 予選通過人数 予選ラウンドはランキングラウンドとし、全員イリミネーション～ファイナルラウンドへ進出する。

9. 表彰

部 門	種 別	表彰人数
リカーブ部門	中学生男子(60m)	1位～4位
	中学生女子(60m)	1位～4位
	中学生男子(30m)	1位～4位
	中学生女子(30m)	1位～4位
	小学生男子(18m)	1位～4位
	小学生女子(18m)	1位～4位
コンパウンド部門	小中学生男子	1位～3位
	小中学生女子	1位～3位
ベアボウ部門	小中学生男子	1位～3位
	小中学生女子	1位～3位

※メダルは各種別1位～3位

10. 参加資格

- ① 競技日程の全スケジュールに参加可能な者(但し、途中敗退の場合を除く)。
- ② 2024年度(公社)全日本アーチェリー連盟に競技者登録済みの者。
出場資格申請点については全日本アーチェリー連盟に未登録であった時点で記録されたものであってもその申請記録は認める。ただし、参加申請するすべての選手は出場資格申請書申し込み締切日までに会員登録システムへの登録が完了していること。
- ③ 中学生は2009年(平成21年)4月2日以降に生まれた学校教育法で定める「中学校」又は「中等教育学校前期課程」に在籍する者。
小学生は2012年(平成24年)4月2日以降に生まれた学校教育法で定める「小学校」に在籍する者。
※小学生は、中学生の部に参加申し込みすることはできるが、その場合小学生の部への申請は出来ない。
中学1年生は、60mの部に参加申込することができるが、その場合、30mの部への申請はできない。
- ④ グリーンバッジまたは、アウトドアターゲット スターバッジ所有者。
但し、リカーブ部門小学生18mの部およびベアボウ部門に出場する者は除く。
(グリーンバッジ所有が望ましい)
- ⑤ 第11項の選考対象期間内に開催された全日本アーチェリー連盟公認競技会もしくは各加盟団体が認めた競技会または記録会で下記⑩の基準点以上の記録を有する者
- ⑥ リカーブ部門中学生60mの部は、60mラウンド(72射)の記録によって申請する。

- ⑦ リカーブ部門中学生30mの部は、加盟団体が認めた競技会または記録会の記録によって申請する。
リカーブ部門小学生18mの部は、加盟団体が認めた競技会または記録会の記録によって申請する。
- ⑧ コンパウンド部門は、公認競技会(50・30mラウンド)の30m(36射)の記録、または加盟団体が認めた30mを含む競技会(30m×72射、30m・18m各36射など)の30m(36射)の記録によって申請する。
- ⑨ ベアボウ部門は、加盟団体が認めた18mを含む競技会(18m×72射、30m・18m各36射、18m・12m各36射など)の18m(36射)の記録によって申請する。
- ⑩ 非公認の競技会の記録で申請する場合、成績表を添付すること。
- ⑪ 申請記録

部門	種別	ラウンド	基準点
リカーブ部門	中学生 男子	60mラウンド	360点
	中学生 女子	60mラウンド	360点
	中学生男子30m	30m(72射)	500点
	中学生女子30m	30m(72射)	500点
	小学生男子18m	18m(72射)	400点
	小学生女子18m	18m(72射)	400点
コンパウンド部門	小中学生 男子	30m(36射)	250点
	小中学生 女子	30m(36射)	250点
ベアボウ部門	小中学生 男子	18m(36射)	200点
	小中学生 女子	18m(36射)	200点

11. 選考方法

- ① 申請記録の上位の者から選考する。但し、申請点が同点の場合、全国大会、地区大会、都道府県大会の順で優先順位を決定し選考する。
それでも決定できない場合は、選考委員による抽選で決定する。
- ② 参加申し込みが定員に満たない種別が発生した場合であっても、参加者の追加はしない。

12. 選考対象期間

2023年7月10日(月)から2024年7月28日(日)まで。

13. 参加費 5,000 円

14. 申込方法

- ① 前記の資格を有する者は、別紙「個人申請書(単票)」に必要事項を記入して加盟団体へお申込みください。
- ② 「個人申請書(単票)」の内容に間違いがないか申請者および加盟団体が必ず確認してお申込みください。
- ③ 加盟団体は上記①「個人申請書(単票)」を基に「出場資格申請書一覧」を作成し、文書交換システムにてお申込みください。なお、申請者がいない場合も、必ず「申請者なし」の連絡を入れてください。
※非公認の競技会の記録で申請する場合、成績表を添付すること。
- ④ 同一選手による複数部門へのエントリーは認められません。
- ⑤ 選考決定後の辞退はできません。
- ⑥ 車椅子・マスタブ等、立順などに配慮が必要な選手は、その旨を備考欄へ記入してください。

15. 申込先

全日本アーチェリー連盟 文書交換システム

文書種別(連盟宛): 競技会関係(ドロップダウンリストより選択してください)

文書名: 「2024年全日本小中学生大会申し込み」と記載。

※ 申請者がいない場合は、コメント欄に「申請者なし」と記載し送信してください。

16. 申込期日 2024年8月6日(火) 午後5時 厳守 資格審査8月9日(金)
17. 2025年 GA 育成選手選考について
- ① 予選ラウンド(ランキングラウンド)の上位から中学生の30mの部男女各3名、小学生18mの部男女各3名を大会後の選考理事会にて審議のうえ2025年 GA 育成選手に認定する。
 - ② GA 育成選手に選出された場合は(公社)全日本アーチェリー連盟強化部の方針に従い、同部が推進する強化事業に全て出席すること。ただし、やむを得ない事情で指導者または保護者から欠席願いが提出され、連盟強化部が許可した場合は、これを認める。
18. その他
- ① 選手は指定された時間に、受付および用具検査を受け、開始式の時は会場内にいること。なお、監督・コーチがいる場合は当該選手と同じ服装、もしくは所属団体が明記されたユニホームを着用すること。
 - ② 申込期日近くに開催した公認競技会の記録を申請記録とする場合は、FAXまたはE-MAILで仮申請を行うことを認める。但し、速やかにシステムの競技会報告の処理を行うこと。
 - ③ 選手はバッジおよび会員カードを必ず携帯すること。(小学生は会員カード)
 - ④ 監督・コーチにおいても JSPO のコーチ資格を有する者は、ライセンスカードを携帯すること。(JSPO カードと連盟会員証)
 - ⑤ 個人情報の取扱いについては、申請時に加盟団体は選手本人に第20項の内容を示し了解を得ること。
 - ⑥ 競技中の負傷は応急処置のみとし、それ以上の責任は負わない。
 - ⑦ 納付した参加費は返還しない。
 - ⑧ 矢取り代行が必要な場合は各自で準備すること。
 - ⑨ ハイパフォーマンスクリニック①②は、選手向け・指導者向けで、詳細は、後日連盟ホームページで公開する。
19. 宿泊について
- 宿泊施設(つま恋リゾート彩の郷)の申込は別紙をご参照ください。
- ※特別料金にてご案内をしております。
20. 選手の心構え
- ① 選手は、礼儀を尊び規律を遵守し、かつ他の参加者との友好親善に努める。
 - ② アンチ・ドーピングについて
- 競技者は次の役割と責任を担う。(日本アンチ・ドーピング規程 第24条)
- i 本規程を理解し、遵守すること。
 - ii いつでも検体採取に応じること。
 - iii アンチ・ドーピングとの関連で、自己の摂取物及び使用物に関して責任を負うこと。
 - iv 禁止物質及び禁止方法を使用してはならないという義務を負っていることを医療従事者に対して自らが伝達するとともに、自らが受ける医療処置についても、本規程の違反に該当しないようにすること。
 - v 自身が過去10年間の間にアンチ・ドーピング規則違反を行った旨の非署名当事者による発見の決定をJADA及び自己の国際競技連盟に開示すること。
 - vi アンチ・ドーピング規程違反を調査するアンチ・ドーピング機関及びJSCのドーピング調査に協力すること。
 - vii JADA若しくは国内競技連盟、又は競技者に対し権限を有する他のアンチ・ドーピング機関が要請した場合には、自己のサポートスタッフの身元を開示すること。
- 【ドーピング検査について】

- i 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。
- ii 競技会参加者(18歳未満の競技者を含む。以下同じ)は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従い、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなします。18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。
- iii 選手は、写真付き身分証明証(学生証、社員証、自動車免許証、パスポート等)を持参してください(本人確認のため義務付けられている)。
- iv 本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯してください。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイト(<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>)からダウンロードできます。18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出して下さい。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出て下さい。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出して下さい。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとします。
- v 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意して下さい。
- vi 本競技会参加者は、競技前7日間に服用した医薬品、塗布、注射等医療行為を施したり使用したりしたもの(処方薬、売薬を問わない)および摂取したサプリメント類の名前と数量を記入したメモを携行することが薦められます。
- vii 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意して下さい。
- viii 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認して下さい。

21. 個人情報の取り扱いについて

- ① 使用目的は次の通り。
 - i 加盟団体への出場決定者選考結果通知。
 - ii 大会プログラム作成(大会プログラムは、大会関係者以外に一般およびマスメディアに公開する)。
 - iii マスメディア、会場内での参加選手や観客および加盟団体への成績表の配布並びに送付(ホームページ掲載を含む)。
 - iv 大会運営に必要な場内アナウンス、掲示板等への掲示。
 - v 本連盟の公式ホームページおよびFacebook、YouTube等SNSへの画像・映像の掲示。
なお、掲載されたくない場合は、その旨を事前に本連盟に連絡すること。
- ② 上記以外に利用する場合は、本人に通知し承諾を得る。
- ③ その他個人情報の取扱い(プログラム作成時の印刷業者への委託等)については、本連盟個人情報保護規程に基づき行う。